

大山の懐に抱かれて

2012年8月22日

8月18日(土)午後榊水高原に向かった。週末2日間「大山地ビールフェスタ」。2年目の開催だが、去年は都合悪く参加できなかった。それだけに、期待も大きい。ビール好きの息子は関西から参加。

突然携帯電話が鳴る。「今来てはいけません！大変な雨と風です！」先乗り仲間からの連絡。どういうことだ、これは。聞けば、天候が急変、嵐になったとのこと。それでも、ここで引き返すという選択肢はない。行こう。不安を抱えながら進む。

どんどん大山が近づいてくる、
ミルクの里手前まで来ると、
雲が取れ大山が山頂部まで
姿をあらわした。到着したと
きには、すっかり穏やかな山
になっていた。



地ビールの種類は豊富。地元大山地ビールはもちろん、遠くは千葉・富山からもブルワーが参加、合計13社。各社数種類のビールを出品。前述の仲間は、こういうイベントは初参加、「ビ

ールの認識が変わった」と言っていた。

午後2時過ぎから午後9時まで、のんびりゆったり過ごした。途中また雨に降られたが、8月（去年は9月）開催なので、寒さで震えるまでにはならなかった。

その日は近くのペンションに泊まった。翌朝食は、手作りパン・地元食材使用の料理をいただいた。

19日（日）、10時半榊水到着。息子は当然のごとくビール三昧。地ビール仲間との会話が弾んだことだろう。



私はといえば、榊水ゲレンデを駆け上がりリフト上の展望台へ。駐車場近くはきれいに草が刈ってあったが、途中から草が腰の高さ

までになり、そのうえ急勾配で、ハアハアゼイゼイ、結構きつかった。が、登りきった。そして、横手道を大山寺に向かってジョギング。石がゴロゴロ、足元が悪いので要注意。ハイカーと「こんにちは」と交わすのも心地いい。大山寺もかなりの人出。折り返し、榊水まで戻ってくるとゲレンデを駆け下りる。といっても途中まではゆっくり。山道は、歩くも走るも下りが難しい。8月とは思えないほどさわやかな中、森林浴ジョギング、最高の贅沢。

それぞれが満足し、帰路に就いた。

